

| | |
|------------------|---|
| Title | 『史学』第八〇巻総目次 |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 三田史学会 |
| Publication year | 2011 |
| Jtitle | 史学 (The historical science). Vol.80, No.4 (2011. 12) ,p.175(451)- 177(453) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20111200-0175 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『史学』第八〇卷総目次

論文

正倉院文書からみた光明子家産

古代日本における公卿上表と皇位

近世中後期藩政改革と「プロト近代行政」

―熊本藩宝暦改革の伝播をめぐる―

二〇一〇年度エン・ゲヴ遺跡（イスラエル）における発掘調査

中近世のベルン領における農奴制問題

―フリーニスベルクとミュンヘンブッフゼーを中心にして―

「朝臣」小考

―花押・草名・実名とは異なる自署の原理―

興福寺東門院の相承

―文明四年北畠氏子弟入室の前提―

満洲における米作の展開 一九一三―一九四五

―満鉄農事試験場の業務とその変遷―

オスマン朝期マハラ・クブラーのトゥライニー家三施設のワクフ

十川 陽一（一）

中野渡俊治（二二）

磯田 道史（四七）

杉本智俊・間舎裕生（七一）

野々瀬浩司（九九）

喜多 泰史（二七七）

大藪 海（二九五）

湯川真樹江（三二九）

長谷部史彦（三五九）

シンポジウム

キャンパスのなかの戦争遺跡―研究・教育資源としての日吉台地下壕―

開催趣旨

〔報告一〕 航空本部等地下壕出入口の発掘調査の成果

〔報告二〕 日吉台地下壕保存の会の活動

〔報告三〕 戦争遺跡研究の現状と課題

〔コメント一〕 中国における日中戦争遺跡

〔コメント二〕 ベルリンの地下壕―特に総統地下壕を中心に―

〔コメント三〕 アジア太平洋戦争と慶應義塾

会場からのコメント

地中海世界の旅人たち―中世から近世へ―

中近世地中海地域のムスリムの旅人たち

中近世スペインの旅人たち

―ユダヤ人(ユダヤ教徒)、キリスト教徒、モリスコを例として―

コメント1

コメント2

コメント3

コメント4

研究ノート

(一三三)

安藤 広道 (一三三)

安藤 広道 (一三七)

新井 揆博 (一五三)

十菱 駿武 (一六四)

一谷 和郎 (一八四)

神田 順司 (一九四)

都倉 武之 (二〇二)

白井 厚 (二一〇)

湯川 武 (二一五)

湯川 武 (二二七)

関 哲行 (二二二)

三沢 伸生 (二二七)

小澤 実 (二二九)

佐藤健太郎 (二三二)

神崎 忠昭 (二三四)

微細石片の平面分布と使用痕分析

— ロシア旧石器遺跡カーメンナヤ・パールカIIの例 —

O・I・アレクサンドロヴァ 濱川 誠 (二三七)

史料訳注

『穆天子伝』訳注稿〔二〕

〔訳注〕 岡本真則、島田翔太、〔監訳〕 桐本東太、富田美智江ほか (三七七)

彙報

(九一) (二五二) (四三九)

会告

(二七五)

第八〇巻総目次

(四五二)